



## 自ら気付いて自分で対応～忘れたらどうする?～

保護者の皆様、新型コロナウイルス感染予防へのご理解とご協力をいただきまして心より感謝いたします。さて、本校では予防策として、毎朝、昇降口で、検温表提出とマスク着用、ハンカチ携帯の確認をしてから教室に入ることになっています。自分や友だちの命を守るために、保護者の皆様にも、毎朝、声をかけてチェックしていただいているところですが、時々忘れてしまう子どもがいます。検温等は欠かせないエチケットになっていますので、どの子どもも習慣化し、絶対忘れないことが一番なのですが、一方で「忘れたらどうするか?」を大切にしています。昇降口にチェックしている先生や大人はいません。子どもたちは「検温表を忘れました。熱を測ってください。」「ハンカチを忘れたので貸してください。」「マスクを忘れたので・・・」と教室に行く前に自分で対応しています。先生や大人にチェックされてから行動するのではなく、「自分で気付いて自分で対応する術を身に付けること」は、どんなことにも対応できる力を身に付けることとなります。3週間経った今、忘れることがなくなってきました。自分で気付いて対応している子どもを誉めています。



【検温表を置くところ】



【忘れたら保健室へ】



【貸し出し用のハンカチを準備】

## 自ら気付き行動する姿が...

～私も気になっていたんです～

感染予防の観点から、安全安心清潔な環境づくりに努めています。2階水道の壁が汚れていたのに、タワシで擦っていたところ、見ていた5・6年生が「やりたいです。」と一緒に仕事をするようになりました。「きれいになる。気持ちいい。」「上も汚れていますね。脚立ありますか。」そして驚いたのは「私も気になっていたんです。」という言葉でした。子どもは見えています。感じ、考えています。ここぞというときに自ら行動します。また、子どもの姿から、教えられました。



着任 特別支援教育支援員

森田 知子先生

特別支援教育支援員「森田知子先生」が、6月18日付で着任し、昼の放送で、全校生に紹介されました。庭塚小の子ども達の学習や活動の支援をしていただきます。保護者の皆様、よろしく願いいたします。



令和元年度 庭塚地区青少年健全育成推進会  
標語コンクール金賞作品

「ふしんしゃと さるくまいのしし  
気をつけて」

3年 阿部 禾乃凪



不審者と熊の出没に気をつけるよう指導いたしました。まさに昨年度の金賞作品の標語で示された状況です。まず、警察への連絡をお願いいたします。